Takashi Kitagawa inspection report 北川たかし 視察報告

終活(しゅうかつ)とは「人生の終わりをより良いものとするため、事前に準備を行うこと」です。例えば、自分のお葬式やお墓について考えておいたり、財産や相続についての計画を立て、身辺整理をしておくといった内容で、これらの活動を行うことで残された家族に迷惑をかけることも無くなり、また、安心して余生を過ごすことができると言われています。

京都市が、終活セミナーを開催したり、エンディングノートなどを作成するなどの終活支援を行なっています。京都府としても終活支援を積極的に実施する必要があるということで、府行政として、終活支援に関する課題を整理し府政に活かすため、終活支援「NPO法人りすシステム」の取り組み、そして『終活読本ソナエ』の出版を通じて、終活の動向についての視察を行ないました。

近年、家族・親族の関わり合いが薄れ、老齢期になって賃貸住宅を借りる、病院に入院する、老人ホーム等の施設に入居する際に求められる身元引受保証人を気兼ねなく頼める親族がいない、死後の事務や火葬・納骨について依頼できる親族がいないという悩みを抱える人が急増しています。今回視察を行なったNPO法人は、それらの社会的ニーズの事業に取り組んでいる法人です。この問題は、今後益々、重要になってくると思われますし、行政としても取り組むべき課題になると思います。また、産経新聞社が発行している雑誌『終活読本ソナエ』も同じ課題を解決するために発行された雑誌です。

人は必ず死を迎えます。と分かっていても、なかなか自分の死と向き合うことは難しいとも感じていました。しかしながら、今回の視察を通して、自分自身のあり方を考える必要があると実感しましたし、今後の行政のあり方、どう取り組むべきかもしっかり考えたいと思います。

防災について

近年、集中豪雨が多く発生し、今年は各地で甚大な被害が出ています。局地的に、短時間に大雨が降ることは、どこでも発生する可能性があり、私たちもいざという時に、どこに避難すべきかなど、考えておく必要があります。

京都府では災害時における安全確保行動につなげるため、ハザード情報(災害危険情報)を予め公開、情報共有しようと、府ホームページにおいて、「京都府マルチハザード情報提供システム」を開設しました。このシステムでは、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域など、様々なハザード情報等を地図上に重ねて表示し、作図機能を用いて避難経路等を描くことができます。「わが家の防災マップ(マイハザードマップ)」や「地域の防災マップ」を簡単に作成でき、各家庭や自治会などで活用できますので、ぜひ一度ご覧ください。

京都府マルチハザード情報提供システム
http://multi-hazard-map.pref.kyoto.jp/top/top.asp

府政活動レポートの特別号を作成しました

毎年2回発行しているこの府政活動レポートは、議会報告が中心なので、地域の課題などをまとめて、分かりやすくお伝えしたいと思い、特別号を作成しました。ポスティングにて配布中です。

もし、お手元に届いていない場合には、ホームページにてご覧いただくか、郵送させていただきますので、ご連絡ください。また、ご感想やご意見などありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております。

[第5回 Voters of voice] 有権者の声　京田辺市 本田 克巳さん

北川たかし府議会議員を支援します

北川たかし・府議会議員には、全日農京都府総連合会副会長として、私と共に、家族農業を守る運動や、TPP等の新自由主義反対の闘いに取り組んで頂いていることに、御礼と敬意を表します。

また、北川府議の祖母や奥様の故郷が私と同じ石川県であり、その意味でも親近感をもって北川さんの議員活動を応援したいと思います。

ちなみに、私が居住する京田辺市薪の一休寺ですが、1650年、加賀藩の前田利常の寄進により再建され、今日に至っています。前田利常は1615年大坂夏の陣の直前に一休寺に立ち寄り、寺の荒廃を認識しています。この35年間の空白に何があるのでしょうか。

私の母の実家にあった資料によると、利常は1639年以降、軍用金を小松城に埋めますが、その作業人夫の一人を取り逃がしています。

私は、寄付金の原資に、利常ゆかりの埋蔵金が使用されたと推理します。もしかしたら一休寺のどこかに小松城の金が埋められているかもしれません。

北川たかし事務所に、お気軽にお立ち寄りください

皆さまのご意見・ご要望など聞かせてください。

北川たかし事務所 Takashi Kitagawa office
〒610-0313 京都府京田辺市三山木上谷浦19-1 マンション竹長1F(有)竹長内
TEL.0774-62-7889　FAX.0774-66-4601
office@kitagawatakashi.net　http://www.kitagawatakashi.net

北川たかし [きたがわ 剛司] 府政活動レポート

第5号
2017.08

プロフィール
京田辺市三山木生まれ／奈良育英高校 卒／大阪電気通信大学 工学部 卒／神戸大学大学院 経営学研究科 修了／元(株)富士通神戸エンジニアリング 勤務／元 流通科学大学 非常勤講師 ラグビー部監督／元 関西大学 非常勤講師／(有)竹長 代表取締役／全日農 京田辺市支部 委員長／NPO法人 幸せイキイキ子ども教育研究所副代表理事／京都府議会議員
【資格】教育カウンセラー／産業カウンセラー／米国CTIコーチング(CPCC)など
【家族】妻、子ども2人　【趣味】スキューバダイビング／ラグビー

発行 北川 剛司　〒610-0313 京都府京田辺市三山木上谷浦19-1 マンション竹長1F(有)竹長内　TEL.0774-62-7889　FAX.0774-66-4601

Greeting ごあいさつ

暑い日が続いていますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様から多くの支援をいただき、京都府議会議員として活動し、もう2年半が経ちました。代表質問と一般質問を4回も実施させていただき、地元の課題もたくさん投げかけさせていただいております。

今年度は、6月定例会で一般質問をさせていただきましたので、報告させて頂きます。また、12月定例会でも一般質問をさせていただく予定です。また皆さまのご意見もお寄せください。

6月に、府政活動レポートの特別号を作成しました。京田辺市、井手町、宇治田原町における、府の課題や取り組み、今後の展望について書きました。全域にポスティングをして、皆さまのお手元に届くようにしていますので、すでにご覧いただいた方もあるかと思います。

その中にも記載していますが、いじめ問題解消への取り組み、教育面における子どもの貧困対策の推進、子育てサポートの相談窓口の一元化、京田辺市・井手町・宇治田原町における河川の改修に向けた府の予算確保など、多岐にわたって取り組む課題が山積しています。また、道路、鉄道などのインフラ整備も行う必要があります。これらの環境整備に関しては、人口減少社会に入った今、どうあるべきなのか、どうしていくべきなのかもしっかりと検討し、整備を進める必要があります。

議員としてまだまだ勉強の日々が続きますが、事務所にお立ち寄りいただいたり、お手紙をいただいたり、皆さまのご意見などをうかがえる機会も増えてきました。府議会において、皆さまの視点に立った意見が言えるように、さらに頑張ってまいります。これからも、ご支援・ご指導をよろしくお願いします。

〈新名神高速道路　開通式に参加〉

政治の原点に戻り

人民の、人民による、人民のための政治

government of the people,
by the people, for the people

を行ないます。

京都府議会議員　北川 剛司